

2021年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月5日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 南方茂穂

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 2021年5月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	9,150	15.9	1,016	79.7	1,026	80.8	734	108.2
2020年8月期第2四半期	7,892	5.3	565	5.5	567	8.1	352	29.8

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 752百万円 (105.3%) 2020年8月期第2四半期 366百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	52.83	52.70
2020年8月期第2四半期	25.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	20,011	10,952	54.6
2020年8月期	18,548	10,463	56.4

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 10,922百万円 2020年8月期 10,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		10.00		10.00	20.00
2021年8月期		12.50			
2021年8月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	13.8	1,800	64.6	1,800	63.7	1,250	84.7	90.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期2Q	14,144,720 株	2020年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2021年8月期2Q	295,012 株	2020年8月期	81,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期2Q	13,901,730 株	2020年8月期2Q	14,063,746 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する健康食品市場は、コロナ禍において消費者の健康意識への高まりが強まっており、総務省の家計調査報告によると2人以上世帯の健康保持用摂取品の支出が前年同月を上回る結果が続くなど、消費者は健康食品の支出を増やしている状況にあります。

このような状況の下当社グループでは、第2四半期連結会計期間においても過去最高の売上・利益となりました。海外部門を中心に好調を維持した結果、第2四半期連結累計期間の売上高は9,150百万円（前年同期比115.9%）となりました。損益面につきましては、各部門の増収効果に加え、医薬品事業を営む子会社本草製薬㈱の黒字化が寄与し、第2四半期連結累計期間の営業利益は1,016百万円（前年同期比179.7%）、経常利益は1,026百万円（前年同期比180.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は734百万円（前年同期比208.2%）となり、売上高及び各利益とも、第2四半期連結累計期間の過去最高を大幅に更新する結果となりました。

事業別の状況

事業別の業績を示すと、次のとおりであります。

セグメント	事業部門	2021年8月期第2四半期	
		売上高（百万円）	前年同期比（%）
ヘルスケア事業	OEM部門	4,425	104.2
	海外部門	1,867	199.7
	通信販売部門	842	121.9
	卸販売部門	365	112.3
	店舗販売部門	801	85.1
	その他	89	131.4
	計	8,392	116.4
医薬品事業	—	758	111.1
合計	—	9,150	115.9

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、コロナ禍において消費者の健康意識の高まりと巣ごもり需要増が相まって、青汁やビタミンなどの定番商材の受注が増加いたしました。さらに、運動不足によるコロナ太りの問題が顕在化する中で、内臓脂肪減少等のダイエットに結び付く訴求ができる機能性表示食品も好調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

機能性表示食品については、前期に続き、届出支援を含む製品開発、提案を強化しております。

生産設備については、本年5月に錠剤及びカプセルの外観検査・選別を自動で行うカメラ検査機の導入を予定しており、品質面での顧客ニーズに対応するとともに作業効率の向上を図ります。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、東南アジアの既存顧客において美容商材が伸長いたしました。また、新規の大口顧客開拓にも注力し、新たな取引を開始いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比199.7%となりました。

・通信販売部門

定番人気製品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』を商材としたテレビや新聞、ウェブ広告等を展開し、同製品の受注が前年同期比136%と大幅に増加したほか、新規顧客へのフォローを強化し同シリーズの『薬用育毛剤爽快柑』も前年同期比153%と伸長いたしました。さらに、ラインアップを強化した機能性表示食品も好調な売れ行きとなりました。その結果、巣ごもり消費による受注増ならびに昨年9月に出店した越境ECの中国天猫（Tモール）での受注も加わり、当部門の売上高は前年同期比121.9%となりました。

・卸販売部門

前期に引き続きコラーゲン商材が好調に推移いたしました。さらに、通信販売事業を営む顧客からの受注が増加いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比112.3%となりました。

機能性表示食品については、開発に注力しておりラインアップの拡充を図ります。

・店舗販売部門

本年2月に機能性表示食品『RICH Light 水溶性食物繊維』及び国産原料にこだわった『RICH 納豆キナーゼ3000』を上市し販売を強化いたしました。新型コロナウイルス第3波による緊急事態宣言発令に伴い、来客数の減少、百貨店雇事の中止や規模縮小等が響き、当部門は苦戦いたしました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高8,392百万円（前年同期比116.4%）、営業利益1,266百万円（前年同期比147.3%）（全社費用調整前）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『タダラフィル錠』『フィナステリド錠』『シルデナフィル錠』が順調に売上を伸ばし、利益においても黒字転換いたしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が758百万円（前年同期比111.1%）、営業利益61百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,402百万円増加し、11,411百万円となりました。この増加要因は主として、受取手形及び売掛金が224百万円減少した反面、現金及び預金が1,263百万円、原材料及び貯蔵品が163百万円、商品及び製品が119百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、8,600百万円となりました。この増加要因は主として、減価償却により有形固定資産のその他が117百万円減少した反面、賃貸用共同住宅の建設により建物及び構築物が235百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,737百万円増加し、7,942百万円となりました。この増加要因は主として、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が固定負債から振返られたことなどにより短期借入金が795百万円増加したことに加え、流動負債のその他が566百万円、支払手形及び買掛金が210百万円、未払法人税等が156百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ763百万円減少し、1,116百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が流動負債へ振返られたことなどにより長期借入金が741百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ489百万円増加し、10,952百万円となりました。この増加要因は主として、取得により自己株式が152百万円増加し純資産が減少した反面、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が593百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,265百万円増加し、5,435百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,715百万円（前年同期537百万円の収入）となりました。

これは主として、たな卸資産の増加額262百万円、法人税等の支払額163百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前四半期純利益1,025百万円、減価償却費247百万円、売上債権の減少額224百万円、仕入債務の増加額210百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は183百万円（前年同期290百万円の支出）となりました。

これは主として、投資有価証券の売却による収入89百万円により資金が増加した反面、有形及び無形固定資産の取得による支出255百万円などにより資金が減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は272百万円（前年同期327百万円の支出）となりました。

これは主として、短期借入金の純増加額100百万円より資金が増加した反面、自己株式取得による支出152百万円、配当金の支払額139百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月20日に公表の2021年8月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,725,642	5,988,898
受取手形及び売掛金	2,190,325	1,965,652
商品及び製品	1,043,265	1,162,685
仕掛品	938,108	917,655
原材料及び貯蔵品	1,013,745	1,176,918
その他	160,728	260,667
貸倒引当金	△62,627	△61,069
流動資産合計	10,009,188	11,411,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,715,340	2,950,997
土地	3,895,432	3,895,067
その他(純額)	1,048,426	930,791
有形固定資産合計	7,659,199	7,776,856
無形固定資産		
その他	162,778	137,057
無形固定資産合計	162,778	137,057
投資その他の資産		
その他	730,837	699,652
貸倒引当金	△13,115	△13,115
投資その他の資産合計	717,721	686,536
固定資産合計	8,539,699	8,600,450
資産合計	18,548,888	20,011,860
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,009,287	2,220,049
短期借入金	2,866,009	3,661,009
未払法人税等	196,273	352,869
賞与引当金	170,100	177,200
ポイント引当金	23,743	25,824
その他	938,927	1,505,314
流動負債合計	6,204,340	7,942,266
固定負債		
長期借入金	1,082,326	340,588
役員退職慰労引当金	195,858	191,337
退職給付に係る負債	439,568	453,931
負ののれん	563	281
その他	162,322	130,517
固定負債合計	1,880,638	1,116,655
負債合計	8,084,978	9,058,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	6,238,981	6,832,772
自己株式	△59,314	△212,110
株主資本合計	10,507,387	10,948,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,684	△46,323
為替換算調整勘定	△2,023	3,819
退職給付に係る調整累計額	18,229	16,930
その他の包括利益累計額合計	△43,477	△25,573
新株予約権	—	30,129
純資産合計	10,463,909	10,952,937
負債純資産合計	18,548,888	20,011,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	7,892,851	9,150,832
売上原価	5,572,711	6,325,758
売上総利益	2,320,139	2,825,074
販売費及び一般管理費	1,754,860	1,809,074
営業利益	565,279	1,016,000
営業外収益		
受取利息	1,673	1,642
受取配当金	5,967	5,470
投資有価証券売却益	578	7,870
受取賃貸料	11,050	9,134
負ののれん償却額	281	281
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,810
その他	6,649	4,265
営業外収益合計	26,200	39,476
営業外費用		
支払利息	16,839	15,502
投資有価証券売却損	472	3
その他	6,479	13,679
営業外費用合計	23,791	29,186
経常利益	567,688	1,026,290
特別利益		
固定資産売却益	175	—
特別利益合計	175	—
特別損失		
固定資産除却損	6,957	181
投資有価証券評価損	22,344	—
減損損失	—	365
特別損失合計	29,301	546
税金等調整前四半期純利益	538,561	1,025,743
法人税、住民税及び事業税	186,779	314,358
法人税等調整額	△1,016	△23,043
法人税等合計	185,762	291,315
四半期純利益	352,799	734,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	352,799	734,427

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
四半期純利益	352,799	734,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,900	13,361
為替換算調整勘定	4,689	5,842
退職給付に係る調整額	—	△1,299
その他の包括利益合計	13,589	17,904
四半期包括利益	366,388	752,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,388	752,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	538,561	1,025,743
減価償却費	246,288	247,403
のれん償却額	228	△281
株式報酬費用	—	30,129
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	7,100
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	81	2,081
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,197	△4,520
受取利息及び受取配当金	△7,640	△7,113
支払利息	16,839	15,502
固定資産売却損益 (△は益)	△175	—
固定資産除却損	6,957	181
投資有価証券評価損益 (△は益)	22,344	—
減損損失	—	365
売上債権の増減額 (△は増加)	25,303	224,842
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91,501	△262,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,352	210,762
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△88,315	2,971
その他	101,202	392,772
小計	755,018	1,885,799
利息及び配当金の受取額	7,618	7,133
利息の支払額	△14,805	△13,421
法人税等の支払額	△209,984	△163,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	537,846	1,715,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△194,704	△255,227
有形及び無形固定資産の売却による収入	175	—
投資有価証券の取得による支出	△105,654	△14,147
投資有価証券の売却による収入	37,890	89,307
その他	△27,818	△3,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,110	△183,465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△768,874	△46,738
自己株式の取得による支出	△29	△152,796
配当金の支払額	△209,815	△139,971
その他	△48,904	△33,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327,623	△272,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,753	5,616
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75,134	1,265,256
現金及び現金同等物の期首残高	3,902,201	4,170,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,827,067	5,435,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,210,463	682,387	7,892,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,210,463	682,387	7,892,851
セグメント利益又は損失(△)	860,161	△7,772	852,388

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	852,388
全社費用(注)	△287,109
四半期連結損益計算書の営業利益	565,279

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,392,376	758,455	9,150,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,392,376	758,455	9,150,832
セグメント利益	1,266,664	61,832	1,328,497

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,328,497
全社費用(注)	△312,497
四半期連結損益計算書の営業利益	1,016,000

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。